

○ 正答例

一 祭時大橋を取りこわす予定だった岩手県が、一関市の熱心な要請を受けて、橋の一部を残すことにした。これは、「地震の強大さを次世代に伝えたい」という思いが、県と市の間で一致したことである。このことから、地震のすさまじさを人々が忘れないようにするために、記事のをせ続けたと考える。(百三十九字)

橋を取りこわそうとする岩手県。一部を残そうと考えた一関市。二者は「橋げたが一部でも残った方が地震のすさまじさが分かりやすく伝わる」という点で一致した。これは、地元をはじめ多くの人たちのでのせ続けたのだと思う。(百三十六字)

○ この問題で身につけてほしい力

○ 資料をもとに推測する力。

○ 新聞記事を比べながら読む力。

○ 考え方

一 岩手・宮城内陸地震について、岩手日報社は二年半で四百五十をこえる記事を新聞にのせています。ふつうは、一つの出来事に対して、これほど多くの記事が書かれることはありません。

これは、岩手にとってばかりでなく、日本にとっても大きな災害だったからです。記事にするべきことがたくさんあり、また、読者の関心も高かったことはまちがいありません。そして、書かれた新聞記事は、後の時代に伝わる大切な記録の一つにもなります。

問題では、祭時大橋に対する、県と市の思いを比べ、根拠にしながらかえるよう求めています。

記事1の後半に、県と市の思いが一致したことを表すコメントが書かれています。新聞記事は、後半になるにつれてくわしく具体的になっていくからです。ここをもとに考えていけばいいでしょう。

○岩手県と一関市の思い

祭時大橋を取りこわす予定だった岩手県が、一関市の熱心な要請を受けて、橋の一部を残すことにした。これは、「地震の強大さを次世代に伝えたい」という思いが、県と市の間で一致したことである。このことから、地震のすさまじさを人々が忘れないようにするために、記事のをせ続けたと考える。(百三十九字)

○自分の考え

○岩手県と一関市の思い

橋を取りこわそうとする岩手県。一部を残そうと考えた一関市。二者は「橋げたが一部でも残った方が地震のすさまじさが分かりやすく伝わる」という点で一致した。これは、地元をはじめ多くの人たちのでのせ続けたのだと思う。(百三十六字)

○自分の考え

引用新聞記事

「岩手日報特集 岩手・宮城内陸地震」岩手日報 WebNews 岩手日报社
http://www.iwate-np.co.jp/08iwate-miyaginairiku/iwate-miyaginairiku.html
記事1 二〇〇九年 九月八日 記事2 二〇〇九年 三月一五日
記事3 二〇一〇年 一月一八日
※岩手日報 WebNews の記事に、学年に応じた振り仮名と語釈をつけました。